

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|----------------|----------------------|-----|--------|--------------|
| ○事業所名 | 放課後等デイサービス ワンセルフくろいわ | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025 年 1月 14日 | | ～ | 2025 年 2月 8日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 16名 | (回答者数) | 16名 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025 年 1月 14日 | | ～ | 2025 年 2月 8日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 7名 | (回答者数) | 7名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025 年 2月 25日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|--|
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・個別のアセスメントが適切に行われ、放課後等デイサービス計画が作成されている。 ・職員間の情報共有が徹底されており、計画に沿った支援が実施されている。 ・支援プログラムの立案はチームで行われ、固定化しないよう工夫されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・支援開始前・終了後に職員間での打ち合わせを行い、連携を強化。 ・活動プログラムのバリエーションを増やし、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる。 ・LINEなどを活用し、出勤時間が異なる職員同士の情報共有を強化。 | <ul style="list-style-type: none"> ・独自のアセスメントツールを開発し、より詳細な個別支援を提供する。 ・支援計画の見直しを定期的に行い、最新のニーズに対応できる体制を整える。 ・職員間の意見交換の場を増やし、より効果的な支援方法の開発を進める。 |
| 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者との連絡が密で、送迎時や連絡ノートを通じて日々の情報共有が行われている。 ・保護者の意向を把握する機会を設け、それを業務改善に活かしている。 ・保護者からの相談に迅速かつ適切に対応し、必要な助言や支援を行っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・SNS（インスタグラムなど）やお便りを活用し、事業所の活動を積極的に発信。 ・保護者との面談を定期的実施し、子どもの成長や課題を共有。 ・保護者からの相談に対して、できるだけ具体的なアドバイスを提供する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ペアレント・トレーニング（保護者向け研修）の実施回数を増やし、家庭での支援力を向上させる。 ・保護者同士の交流の機会を増やし、悩みを共有できる環境をつくる。 ・保護者アンケートの実施頻度を増やし、より多くの意見を業務改善に反映させる。 |
| 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・事故防止・緊急時対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している。 ・毎月異なるシナリオで避難訓練を実施し、緊急対応力を高めている。 ・ヒヤリハット事例を共有し、再発防止に向けた対策を検討している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の対応マニュアルを定期的に見直し、最新の情報を反映。 ・職員の配置や動線を考慮し、安全な支援環境を維持。 ・非常時の連絡体制を確立し、保護者への迅速な情報提供を徹底。 | <ul style="list-style-type: none"> ・研修内容をより実践的なものにし、職員の危機対応力を強化。 ・防災意識を高めるため、こども向けの防災教育プログラムを導入。 ・地域の防災訓練に積極的に参加し、外部機関との連携を強化。 |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|--|
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の児童発達支援センターや関係機関との連携が不十分。 ・放課後児童クラブや地域の子どもたちとの交流が少ない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業所内での業務が多忙で、地域との連携に時間を割くことが難しい。 ・保護者との連携が中心になりがちで、外部機関との情報共有が少ない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域や外部機関との連携を強化する仕組みをつくる。 ・他機関との連携窓口を設置し、情報共有を促進する。 |
| 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者向けの支援プログラムが不足している。 ・保護者同士の交流機会が少ない。 ・家庭での支援に関する情報提供が十分でない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者支援の優先度が低くなりがちで、日々の業務で手一杯になっている。 ・どのような支援が保護者にとって有益なのか、具体的なニーズ把握が十分でない。 ・保護者会の開催が難しく、参加者が少ない傾向がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ペアレント・トレーニングの開催頻度を増やし、保護者の支援力を高める。 ・保護者同士の交流の場を設ける。 ・家庭での支援に役立つ情報提供を強化。 |
| 3 | | | |